

9月28日 「何も言えなくて・・・夏」

今日はバンジャムルン最後の日だ。宿泊者が書くコメントノートに、この二週間のお礼とまた来るよ～というコメントを残し、お礼の言葉はタイ語で書いてみた。その後、朝にお土産を買いにコミュニティセンターへ。買おうとするとなんでもただでくれるので困った。申し訳ないしありがたい。でも、今まで一緒に作業する関係だったりインタビューする関係だったのに、売り手と買い手の関係になるとすこしきまり悪さを感じるなあ。なんなんだろうこの感覚。まあバンジャムルンの方は普通に売っていたけど。ドリアンチップスなどのチップス系とTシャツも買った。コミュニティセンターのすぐ近くのレストランソムタムに行ってバナナチップスを買った。ジェーさんに僕ら大学生と一緒に撮った写真をプレゼントしたが、まさに写真だけだったので、すこし味気なかったかなあと思った。もうしわけない。お客さんがいたこともあってざわざわするうちに荷物を置きに家に帰った。

(ジェーさんとの写真)



結局、そのままホームステイ先からブンさんの車でバスターミナルに直行し、村の人たちにお別れとお礼を言いそびれた・・・。バスターミナルに向かう途中、ホームステイ代が4000バーツから3000バーツに値下がりして、安堵した。ホームステイ先のお母さんのパドウムが、4000じゃなくて3000で良いと言ってくれたそう。まあぶっちゃけ4000は無いだろ、と不満をふつふつ言っていたので、気分よくバンジャムルンの日々を終えた。バスに乗る前に、ポケットに入っていた10バーツに気が付いた。サイクリングのときにお寺の目で拾ったものだった。バンジャムルンで拾って、そのままどこかへ持って行くのもなんだかなあと思い、一緒に来ていたパンケにあげた。ちゃんと手を合わせてお辞儀をしてくれた。

帰りのバスの中で『それでも日本人は戦争を選んだ』を読みながらいつの間にか寝ていた。ヴィクトリーモニュメントのバス停に着き、タクシーを拾った。タイ語で書かれたタマサートの住所を見せながら「タマサートに行きたい」と言ったのに、どうやら方向が違う・・・一杯食わされ

るのか？と思って不審に思っていると、タクシーの運転手が書かれた住所を見て、なんだか「やっちゃった」みたいな顔をした。なんだろうと思ったら、彼はバンコクのタマサート大学と勘違いしていたのだ。タマサート大学はバンコクにもランジットにもキャンパスが有る。そこで、来た道を引き返してタマサート大学ランジットキャンパスに向かった。タクシーでランジットに向かう中、僕は内心「こいつわざと間違えただろ」とか思いつつ、120 kmぐらいでトバス運転にビビっていた。しかし運転手が特に悪びれもしないので、ひそかに彼のタクシー運転手証明書をデジカメで撮っておいた（笑）。タマサートについてはチャイワン先生に電話して先生がドミトリーを予約してくれていたのので、ドミトリーに行って休息。夕食を食べ、早めに就寝した。